

# NPO 法人東京シュール・ホームシュール

---

## 発表者氏名(発表順)

矢嶋康平(スタッフ)・小川真澄さん(ホームシュール会員)

中島泉さん(ホームシュール会員)

## 発表内容(概要)

- ① ホームエデュケーションについて
- ② ホームシュール活動について
- ③ ホームエデュケーション家庭の体験談(小川・中島)
- ④ 質疑応答・ディスカッション

## 質問内容とそのやりとり(概要)

Q1 シングルマザーでもホームエデュケーションは可能か？

A 可能。現在もシングルマザーの会員はいる。

Q2 いちばん年齢の低い人は？

A 小学校低学年年齢。

Q3 将来(経済的に)自立できるか？

A 現在アルバイトをしている(小川・中島)。会社や職場とのマッチングがうまくいけば仕事はできる(中島)。

進路には「進学」「就職」「在宅」がある。いずれにせよ、ホームエデュケーションは寄与できる。家庭の力を軽視せず、大事にしてもらいたい(矢嶋)。

# 東海大学

## ブラジル学校「エスコーラ・オブソン」

---

発表者氏名: 小貫大輔、マコミ・ウエムラ

発表内容(概要):

小貫が日本におけるブラジル学校の現状を整理し、ウエムラが茨城県常総市で運営するブラジル学校「エスコーラ・オブソン」の日々の教育実践について報告した。ブラジル学校とは、ブラジル人の子どもが母国の言葉・方式で学ぶ各種学校や私塾形態の学校のことである。帰国を予定するからという理由ばかりでなく、日本の学校文化になじめない、「いじめ」が怖い、親との「言語的断絶」を避けたいなどの理由で、全国に60校ほどあるブラジル学校に4千人ほどの子どもたちが学んでいる。そんなブラジル学校のひとつである「エスコーラ・オブソン」には、保育園から高校まで141人(2014年1月現在)が通っている。放課後や週末のスポーツ・文化活動も活発で、地域のブラジル人コミュニティの核ともなっている。2001年に創設され、2003年にはブラジル政府の認証を受けたが、運営形態は個人会社で私塾と同じ扱いとされるため公的な助成を受けることはできていない。文科省はこういった学校が各種学校になれるように認可基準を下げることを自治体に求めているが、茨城県は対応していない。

団体HP <http://escolaopcaoibaraki.blogspot.jp/2011/04/alimentos-para-sendai.html>

# 一般財団法人 東京サドベリースクール

---

発表者氏名 代表理事 杉山まさる

## 発表内容(概要)

「自らの人生を、自分らしく楽しみながら歩いていく～東京サドベリースクールの実践～」

子どもを本当に信頼するということはどういうことか。また、そのために学校が出来ることは何かということ、実際にスクールで過ごしている生徒たちの様子を、写真を多く交えながら紹介させていただきました。

私たちのスクールでは、子ども自身が自ら一歩踏み出すまで、スタッフと呼ばれる大人は何も与えません。

大人が一方的に何も与えない環境こそ、子どもが自分を見つめ、自ら一歩を踏み出し、人と関わりながら人間関係を学べると考えているからです。

子どもたちはそういった環境でこそ「自分たちは最大限尊重されている」と感じ、誰かの期待やシステムに乗ることなく、自分で自分の人生を選び続けていくことができます。

子どもに自分の人生を自分で決められる自己決定権が与えられているなかで、子どもたちがどのように自分と向き合い、学び、成長し、他者と共存していくのかを、お話させていただきました。

団体HP <http://tokyosudbury.com/>

# 東京シューレ葛飾中学校

---

発表者氏名 奥地圭子 野田美喜子 力石みのり

## 発表内容

『「一人一人を大切に」って、どうやって…?』

「一人一人を大切に」＝「子どもの多様性によりそうこと」で、それは子どもの生命によりそうことでもあります。

この時間はシューレ中の主な3つのしくみの中で、子どもたちの多様性によりそった学び・活動のあり方を紹介しました。

### ①授業…

(英語)1つの授業の中でも多様な子どもたちに合う教材づくり・個別学習等

(美術)時間でしげばらず、気に入った題材があれば継続する等

### ②マイコース…

・「一人一人に合った学びを大切に」・専任スタッフで運営

・部会(子どもひとりひとりの状況の把握)

・マイコース時間割

### ③ホームスクール…

「家でも成長できる、学ぶあり方がある」・専任スタッフで運営

・ホームスクール部門独自の企画(お出かけ・料理・もの作りなど)

・家での活動を紹介しあう通信を発行・訪問・ネットでのやりとり等

これら全てに通じて、「安心できる」「居場所がある」「個性・ペース・やりたいことを大事にする」、「スタッフとの信頼関係(子どもの声をよく聞く)」ことが大切だと考えています。

### ・質問内容とそのやりとり(概要)

「集団で何かをすることが難しい子へのサポートの報告が主だったが、学習をたくさんしたい子はできるのか」

「家にいてゲームばかりしている子が、外への興味を持つきっかけをどう見極めているか」